

令和 2 年 2 月 1 1 日  
在ザンビア日本国大使館

安全情報：有毒ガス被害に関する注意喚起

- 2月9日深夜、ルサカ市内の民家に有毒ガスが散布される事象が発生しました。
- 同様の有毒ガス被害は、1月にコッパーベルト州で発生して以来、北西部州地域に拡大しており、今回首都ルサカでも発生しました。
- 被害が起きている地域及びその近隣にお住まいの方は、不要な外出を避け、特に就寝時の窓、扉等の施錠確認を徹底するようご注意ください。
- 被害の報告等、緊急時は下記連絡先までご連絡下さい。

【問合わせ先】

在ザンビア日本国大使館 領事警備班

+260-977-77-1205

+260-977-77-1206

【参考：関連報道】

1 2月9日深夜、ルサカ市内のジョージタウン (George Township) の民家に有毒ガスが散布され、1世帯9名が病院に搬送された。

2 被害者（女性2名、子供7名）によると、深夜2時頃、咳が始まり呼吸が困難になった。

3 ルサカ州警察によると、ルサカではジョージタウン及びその近隣地 (Lusaka West, Middle West and Kasupe Townships) において、5世帯の家族が被害に遭っている。目下、警察が捜査中であり、現在のところ重傷の被害者はいない。

4 同様の有毒ガス被害は、1月初旬にコッパーベルト州で発生して以来、北西部州地域及び首都ルサカで発生している。過去の被害発生状況は次のとおり。

1月27日、コッパーベルト州 Chingola 及び Kalulushi の民家において138名の住民が被害

1月30日、北西部州 Kalumbila の9世帯の民家において32名の住民が被害

2月6日、コッパーベルト州 Lufwanyama の学校において17名の生徒が被害

2月8日、北西部州 Meheba の学校において28名の生徒が被害